

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子
ほかほか花 「あったか言葉」をつかう子
きらりん花 きらきらと自分らしく輝く子

6年生とお別れする日が近づいてきました

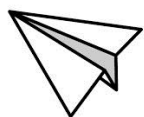
令和元年度も残り1か月となりました。過去に記憶がないくらいの暖冬で上学年が楽しみにしていたスキー学習は残念ながら中止となりましたが、好天の下、子供たちは毎日のようにグラウンドに出て遊んでおり、笑顔あふれる学校生活を送っています。

この時期の学校生活で子供たちに望むことは、この1年間の自分の成長を自他共に認め合うこと、その成長を支えてくれた人や物に感謝すること、と捉えています。6年生は卒業式が目前に迫ってきました。式に向けての練習が始まりますが、中学校へ羽ばたく喜びとともに、これまで成長してきたことへの感謝の気持ちを、卒業式の門出の言葉に込めています。4、5年生は、6年生から児童会の引き継ぎを終え、卒業生への感謝の気持ちと来年度から自分たちが学校をリードしていく自覚をもってほしいと思います。そして、1、2、3年生には、1年間の成長を確かめるとともに、進級する喜びを味わわせたいと思います。



2月20日（金）に、「卒業を祝う会」が行われました。卒業式は、学校行事として厳粛な式として行われますが、この「祝う会」は、5年生が中心になって企画・運営する子供たちの手作りの会です。今年度、学校をリードしてくれた6年生に、感謝とエールの気持ちを込めて、在校生が劇、ゲーム、呼びかけや歌を披露しました。温かな雰囲気の中、楽しさと寂しさを皆が感じる時間となりました。涙ぐむ子供もいました。6年生は、残り少なくなった小学校生活の風景をじっくりと味わい、卒業式を迎えてほしいと思います。なお、この会の中心となった5年生の働きぶりは、すばらしいものでした。ぜひ、この自信を来年度につないでほしいと願っています。

最後に卒業する6年生のみなさんに、私の大好きな「365日の紙飛行機」（秋元康作詞）の歌詞の一節を贈ります。



人生は紙飛行機 願い込めて飛んでゆくよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競うより どう飛んだかどこを飛んだのか
それが一番大切なんだ さあ心のままに



中学生になると楽しい行事もありますが、教科ごとに先生が変わり学習の難しさも一気に加速します。しかも中学卒業時には自分で進路を決定しなくてはなりませんので、自分で考えて行動しなくてはならない機会も増え、厳しい課題を求められることが幾度もあるでしょう。4月からそんな生活が待っているわけですが、どんな時でも自分の夢や目標に向かって努力を積み重ね、結果だけを見るのではなく、頑張る過程（プロセス）をしっかり見つめながら前に進んでほしいと願っています。

教 頭 角 川 誠

みんなの心が温かくなった「卒業を祝う会」



1年生
「思い出を歌に乗せて」



2年生
「6年生さん今までありがとうクイズ」



3年生
「6年生さんへかんしゃの気持ちをこめてプレゼント」



4年生
「王様に勝てるかな！王様ジャンケンキングでポン！！」



5年生
「6年生から受けついだ三つの花のストーリー」



全校合唱
「ひまわりの約束」



今年度最後の授業参観
～1年間の成長が伝わってきました～

